



水に親しむ活動を通して、自然に対する関心を促進

ネイパル森

ネイパルで水あそび

1 事業のねらい

親子で施設周辺の自然を生かした水に親しむ活動を安全に体験することにより、自然に対する関心を深めるとともに、親子の絆を深めたり、他の参加者との交流を促進したりする。

2 事業の概要

- 期日 R5.7.22(土)~23(日) 1泊2日
- 対象 4歳以上から小学校2年生までの子どもを含む家族
- 人数 20家族62名
- 場所 ネイパル森、宿野辺川(森町)

3 プログラム

| | | | | | | | | | | |
|---------|-------|-------|--|-----------------------|-------|-------|-------|--------------------------|-------|----|
| | 12:45 | 13:00 | 13:30 | 15:40 | 17:45 | 18:00 | 19:00 | 20:00 | 22:00 | |
| 7/22(土) | 受付 | 開会式 | 活動①(ネイパル森) 「仲良くなろう」 | 活動②(宿野辺川) 「川であそぼう」 | 入浴 | 夕方の集い | 夕食 | 活動③(ネイパル森) 「灯ろうをつくろう」 | 自由時間 | 就寝 |
| | 7:30 | 9:15 | 活動④(ネイパル森) 「水であそぼう」 | | | | 12:00 | 13:00 | 14:00 | |
| 7/23(日) | 起床 | 朝食 | 【親子】的あて、ストラックアウト、ふださがし、さかなすくい、ヨーヨー釣り 【親子別】子(スプラッシュ!!水風船玉入れ) 親(ほっとひとときタイム) | | | | 昼食 | 交流アンケート | 閉会式 | 解散 |

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 施設周辺の自然を生かした体験活動
 - ・「川であそぼう」では、安全に活動できるよう、水深、水流、川底、害虫の様子など、何度も念入りに事前踏査した。また、幼児から低学年の子と親が川流れや散策のほかにも様々な川遊びを楽しめるように、箱めがねや水鉄砲などの道具を準備した。
- 施設敷地内の小川を生かした創作・体験活動
 - ・「灯ろうをつくろう」では、水量が少なく水深も浅い施設内の小川を活動場所とすることで、夜間でも楽しく安全に灯ろう流しをできるようにした。また、願いや思いを込めた灯ろうを子と親と分業で作ることにより、家族の絆を深められるようにした。



施設周辺の川を生かした体験活動

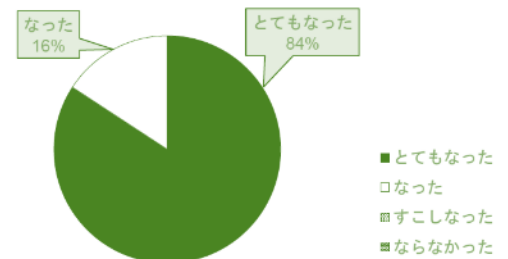


丁度良い水量の小川で安全に活動

5 事業の評価

- 参加者アンケートから
 - ・家族だけで川で遊ぶのは怖いし危険だと思っただけで、今回のネイパルでお友達と一緒に楽しく安心して遊べました。
 - ・初めての川遊びでした。水の冷たさにびっくりしていましたが、子どもが楽しんでいました。

Q 今回の事業は水辺でのあそびの楽しさを知るきっかけとなりましたか？



6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 天候や川の様子など、様々な状況を想定して事前に準備したり、適所にボランティア等の人員を配置したりすることにより、参加者が安心して安全に自然体験活動を行うことができた。
- 暑さ対策はしっかりとできていたが、川から上がった後の寒さ対策が不十分だった。川から出た後に暖をとることができるような工夫が必要である。

企画のポイント

念入りな事前踏査と、当日の気象状況や参加者の実態に合わせた活動の場の設定。